

4. 南関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (南関東)	良く なっている	百貨店（総務担当）	単価の動き	・販売量、売上高の動きが良くなっている。当グループのなかでも、前年同月比で約3～5%の動きになっている。ただし、部門にばらつきがあり、宝飾品等のブランド品を中心に高い伸びを示している。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前月よりも非常に来客数が多くなっている。様々な原因があると思うが、やはりアベノミクスの効果が非常に現れているのではないかと。株価も一時は下がっているが、購買意欲は堅調に推移している。
		その他小売〔雑貨卸〕（経営者）	販売量の動き	・アベノミクスの効果である。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・団体旅行に関する問い合わせの電話の本数や、見積依頼が増えている。団体旅行の間際での申込も増えている。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・ゴールデンウィークはすべて晴天であり、当社は観光地のため、今月はとても良い数字となっている。
		設計事務所（経営者）	それ以外	・公共設計を主としているが、それと併せて民間の方のPR、ホームページの戦略等、様々なことをしている。公共からの指名が大変多く、今までは不調だった物件も多く取れるようになった。しかし、大量に出るため、どれを選んでよいのか、先に取ってしまうと損をしてしまわないか、見定めが大変難しい。今はやり切れないほどの指名が入っている。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・受注数が例年より増えている。また、来場者数も2～3割増えている。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	それ以外	・今年の始めごろに比べると、確かに良くなっている。アベノミクスの影響と、私鉄の相互直通運転開始による新たな人の流入の影響である。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・不安がかなりあるが、わずかに良くなる気配を感じている。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	販売量の動き	・薄型テレビはまだまだ動かないが、白物家電はよく動いている。太陽光発電も仕組み、効果を丁寧に説明すると、納得の上購入してもらえる。細かい仕事は相変わらず多いが当社の持ち味のため、できる限りこたえている。
一般小売店〔家具〕（経営者）		来客数の動き	・最近、来客数が少し多くなってきている。ただし、成約に結びつくまでには少し厳しい面もあるが、今後、やや値上がり等もあるため、客が増えている。	
一般小売店〔文具〕（販売企画担当）		お客様の様子	・来客数はある程度増えている。小売はそこそこに健闘しており、その他の外商でもこのところ案件数が少し多くなってきたようである。消費税が来年4月に上がるということで、その前に早めにエアコンやパソコンの買換えをしておこうということで需要が出てくる。	
一般小売店〔茶〕（営業担当）		来客数の動き	・客単価は下がっているが、来客数、売上共に伸びている。	
一般小売店〔茶〕（営業担当）		販売量の動き	・会社や事業所のお茶等の売上は、ここ数か月横ばい状態だったが、個人向け新茶等の予約の売上は、前年より少し良い。福島第一原子力発電所の事故などの風評被害も落ち着き、個人客も新茶購入に意欲が戻ってきている。	
百貨店（広報担当）		お客様の様子	・4月は天候不順などがあり、前年並みの売上であったが、5月に入り、全体的に売上が上向いている。内容をみると、宝飾、時計では前年比120%以上の売上であり、また、絵画では3千万円以上の作品が売れるなど、特に高額品の動きが良い。定番となった北海道展でも前年比で110%近い売上を記録するなど、アベノミクス効果からか消費に勢いがみられる。	
百貨店（営業担当）		来客数の動き	・高額品の好調により売上が前年比で増加に推移しているのに対し、減少の続いていた来客数が今月に入り増加に転じた。	
百貨店（店長）	お客様の様子	・高額品は良いが、一般客向けの商品は目立つほどには好調とは言えない。		

百貨店（営業企画担当）	単価の動き	・株価上昇に伴う資産効果で、宝飾品など高額品が好調な一方、衣料品、衣料雑貨等は大きく伸びてはいない。また、宝飾品と共に好調だった特選ブランドの伸びが落ち着いてきた。円安に伴う値上げの影響も考えられる。
百貨店（営業企画担当）	販売量の動き	・衣料品、雑貨等全般で売上が好調に推移している。特に宝飾等の高額品が好調である。
百貨店（販売管理担当）	単価の動き	・時計や宝飾品など的高額品が堅調に推移しているだけでなく、ファッション関連商材や母の日などのギフト商材も、今までよりワンランク上の商品を選択する客が増加している。
百貨店（計画管理担当）	お客様の様子	・一部の客ではあるが、高額品の時計やめがね、ゴルフクラブが売れている。結果的にこれらが売上のけん引となり、前年をクリアしている。
百貨店（副店長）	来客数の動き	・消費者のニーズをつかんでいるサービスや品ぞろえを実施することによって、以前より明確に客が反応するようになった。セールよりも正価での限定販売や特集販売などの企業努力に反応する。
スーパー（営業担当）	単価の動き	・円安、株高の基調が財布のひもを若干緩めている。
コンビニ（経営者）	お客様の様子	・高単価のプライベートブランド商品の売上の伸びが堅調であり、セール品の売上も増加、客の買物動向が明らかに変化している。
コンビニ（経営者）	単価の動き	・近隣のスーパーが閉店したため、一時的に良くなっている。
コンビニ（経営者）	単価の動き	・夜の来客数の増加や、単価も103%と1品多く買物する傾向にある。
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・今までは様子見が多かったが、今月中旬以降は買いたいという意欲を強く感じる。前年比で5月は8%増である。
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・力強さはなく、まだ客は慎重である。言葉に踊らされている感じが否めないが、少しだけ消費意欲が高くなっているような雰囲気である。
家電量販店（営業統括）	単価の動き	・円安によって多くの外国人観光客が買物を楽しんでいる。また、高単価の商品を短時間で購入するため販売効率は良いが、免税手続きの煩雑さが今後、販売量増加の足かせとなる可能性がある。
家電量販店（統括）	単価の動き	・来客数は前年割れだが、商品単価が上がってきている。
乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・新車の販売で来客数が3か月前よりかなり増えてきており、成約率も高くなってきている。
乗用車販売店（渉外担当）	お客様の様子	・アベノミクスによる株高、そして新型車効果やエコカー減税、免税継続で新車契約が粛々と続いている。受注残もあり、前年比マイナス5～10%でしばらく続く。
乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・何が要因か定かではないが、平日にも新車の商談が増えている。
乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・4月の月末はバックオーダーが多く、純受注も前年並みに獲得できたが、株価の乱高下があり、第4週以降は非常に厳しい実績となった。
乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・今月の売上は前年比約80%で、2割ほど落ち込んでいる。これは全国的にそうだが、トラック事業としては今一段落で、やはり環境関係の補助金がなくなったことが原因と思われる。ただし、アベノミクスの関係で、ユーザー自体はこれから景気が良くなるので前向きな投資をしていこうと考えている。
高級レストラン（店長）	単価の動き	・1組当たりの利用単価に上昇の兆しがみられる。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・3か月前と比べると、少しは良くなってきている。3か月前は寒い時期の2月なので、年間で一番悪い時期であり、それから比べると5月は伸びてきている。
一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・前年比でみて、3か月前の2月は1～26日までの売上が98.01%、来客数97.7%であったが、今月は1～24日までで売上102.2%、来客数101.9%という結果になっている。
一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・同業の新旧店舗の交代が激しいなか、飲食店チェーンが裏通りにも進出してきた。
一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・やはり3か月前と比べて、飲食している客が増えている。テレビ、マスコミ等ではアベノミクスで景気が良くなっているということで、雰囲気が変わってきたようである。

都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・例年5月は前半の大型連休は忙しく、以降は一気に落ち着いてしまう傾向にあるが、今年は落ち込みが緩やかである。3か月前から比べても、販売量が確保されていることなどから、景気がやや上向いている。	
旅行代理店(経営者)	単価の動き	・今まで客が宿泊するのは、中の下ぐらいが多かったが、今回に限っては、中を超えて上の下ぐらいの所をほとんどの人が希望している。まだ上の上までにはいっていないが、景気回復の兆しがあるというマスコミ等の話があるのもその内の1つと思うが、皆が大分良くなってきているというのが、底辺の私達にも徐々に伝わってきている。	
旅行代理店(営業担当)	販売量の動き	・他社に対抗した新商品の販売が伸びている。	
タクシー運転手	お客様の様子	・月初めはゴールデンウィークにもかかわらず、利用があり、昼間は以前と変わらず動きが良い。夜の客足は若干悪いものの、深夜、ロングの客が少しずつ増えている。	
タクシー(団体役員)	お客様の様子	・今月は、ゴールデンウィーク後の需要が多少落ちたが、週末になると3か月前と比較しても、深夜の時間帯の繁華街にも多少の需要はある。	
通信会社(経営者)	販売量の動き	・スマートテレビ向けのセットトップボックスの販売が好調である。電話サービスも引きずられて好調である。	
通信会社(社員)	お客様の様子	・大幅な改善はないが、契約申込件数が前月に比べ増加している。また、次月に続く見込み件数も改善している。	
通信会社(営業担当)	販売量の動き	・月額料金が上がる有料テレビサービスの加入件数が上向き傾向にある。	
ゴルフ場(支配人)	来客数の動き	・来場数、収益数共に東日本大震災前の数字に戻りつつある。	
美容室(経営者)	お客様の様子	・客との会話のなかで、景気の良い話をよく聞くようになった。	
設計事務所(経営者)	お客様の様子	・顧客の会社の売上が上がってきているようである。	
住宅販売会社(経営者)	それ以外	・当社は住宅を主に扱う不動産開発業と総合建設業だが、直接景気が良くなっているとは感じない。しかし、世間のムードは明るさを持ってきているようである。ムードだけではなく、本当にこれから個人消費が増えて、景気が良くなることを期待している。	
住宅販売会社(従業員)	販売量の動き	・マンションの販売センターにおける客の購入意欲が上向いている。	
住宅販売会社(従業員)	販売量の動き	・例年、4月は受注が落ち込むが、今年の戸建住宅の受注量は例年の2倍近くとなっている。5月に入ってから商談数は増加基調が続いており、営業、設計共に活気が感じられる。	
変わらない	商店街(代表者)	お客様の様子	・当商店街では大手スーパーが目の前にあり、このところ大型店同士の競争も激しく、価格競争になっている。あらゆる業種で客が価格に敏感になってきている。当地域は新興住宅地で若い人がいるため、非常に価格にシビアであり、アベノミクスの影響はまだまだ先ではないか。
	商店街(代表者)	来客数の動き	・空き店舗の借り手がなく、2、3年シャッターが下ったままである。個人経営の物販店がこの何年かほとんど減っている。大型店の問題もあるが、後継者がいないのではなく、継がないことが原因だと思う。
	商店街(代表者)	来客数の動き	・今年天候不順で夏のように暑い日が続いているが、このような暑い日には年配者が出てこないで、かなり影響が出てくる。季節に合ったような天候にならないとなかなか難しい。
	商店街(代表者)	販売量の動き	・売出しの企画を毎月1回ずつ行っているが、やはり来店してはもらえるものの買上比率が減っていることと、点数が少なくなっているという状況がある。
	一般小売店[和菓子](経営者)	販売量の動き	・5月に入ってゴールデンウィークは天候も良く、売上が順調に伸びたが、後半にきて夏が続いたり、梅雨入りで天候不順が続いたりなど売上があまり良くなく、トータルするとあまり変化がない。

一般小売店 [印章] (経営者)	来客数の動き	・テレビ等では、アベノミクス効果などと非常に良い数字を徐々に並べたり、また日経平均株価が急に下がったりと、まだ本当の安定ではない。ただ周りがアベノミクスということで騒いでいるだけの様な気がする。私ども末端に効果がある前にアベノミクスがなくならないことを望んでいる。
一般小売店 [米穀] (経営者)	お客様の様子	・客とのコミュニケーションから、変わらない。
百貨店 (売場主任)	お客様の様子	・気温が上がってきてUV関連の雑貨など、客は必要な物は買う傾向にあるが、気温に左右されやすい傾向がやはり続いているため、あまり変わらない。
百貨店 (総務担当)	販売量の動き	・個人消費は伸びている実感はない。
百貨店 (総務担当)	来客数の動き	・来客数は依然低調である。経済は上向きではあるが、当店においては目立った効果は表れていない。買上率は少し上向いてはいるが、来店客を増やす努力が必要である。
百貨店 (営業担当)	単価の動き	・店舗の一部閉鎖により営業面積は減少したが、坪単価の売上高は上昇している。総売上は減少したものの、効率面でみると良い傾向に向かっている。また、カテゴリーごとでは、婦人アパレル及び宝飾品の客単価が上昇している一方で、食料品については前年割れの状況が続いている。カテゴリーにより好不調の波があり、全体としては変わらない。
百貨店 (営業担当)	来客数の動き	・来客数はまだまだ目に見えて上がっておらず、単価も世間で言うほど上がっていない。カジュアルな婦人服はまだデフレ状態が続いている。
百貨店 (販売促進担当)	お客様の様子	・一部高額品の動きはあるものの、必要のないものは購入しない堅実な動きは続いている。
スーパー (経営者)	販売量の動き	・来客数も多少減っているが、それ以上に買上点数が減ってしまっているため売上が悪くなっている。競合店の出店による分も入っているが、全般的に良くない。4～5月にかけてあまり良くない状況が続いている。
スーパー (店長)	お客様の様子	・来客数、買上点数は横ばいだが、単価の上昇がみえてこない。安物買いに集中しているため、曜日別の売上の開きが以前より増してきている。
スーパー (店長)	来客数の動き	・世の中はアベノミクスで景気が良いと言っているが、小売業では客が様々な店を買い回って、安い所に流れている。デフレから脱却できない状況のため、逆にスーパー側は競合店より1円でも10円でも値段を安くしていかなないと、なかなか戦えないと感じている。
スーパー (仕入担当)	来客数の動き	・円安、株価上昇とアベノミクス効果が出ているように思われるが、実際の給与にはまだ反映されていないため、身の回り品への消費は増えていない。
スーパー (仕入担当)	単価の動き	・競合各社の価格政策に巻き込まれる形で、チラシ売価が前年より下がっている。買上点数もさほど大きく伸びていないため、売上全体を下げてしまっている。
コンビニ (経営者)	来客数の動き	・来客数の減少は変わっていない。
コンビニ (経営者)	来客数の動き	・同じチェーンの新店ができてから、来客数が約1割減っており、それがずっと続いている。それ以上減ることもなく、また、回復する見込みもない。住宅ローンの金利が上がる等の報道があったり、先週から今週にかけて株価が上下している。そのようなことから、しばらくの間は楽観ができない。
コンビニ (エリア担当)	来客数の動き	・来客数が3か月前と比較しても同じダウントレンドである。特にたばこ購入者の減少が続いている。
コンビニ (店長)	販売量の動き	・現場から感じる限りでは、依然として節約傾向が続いている。
コンビニ (商品開発担当)	販売量の動き	・一瞬の販売力はあるものの、長続きしない。
コンビニ (商品開発担当)	来客数の動き	・来客数は回復傾向になく、ほぼ横ばいの状況が続いている。
衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・買える人は今まで通りまとめ買いをしているが、買えない人は安い物でも慎重に選んでいるため、全体の売上で見ると、2月よりは良いが前年比ではあまり変わっていない。アベノミクスの効果が実感としてまだ感じていない。

衣料品専門店 (営業担当)	販売量の動き	・5月は母の日というイベントもあって売上は前年比99%と、あと一歩で前年クリアであったが、惜しくも到達しなかった。アベノミクスどうこうで景気が上がっていると言われているが、中小企業、末端にはまだまだ影響されていないと感じている。
家電量販店(店員)	それ以外	・現状、販売店において変わらないというのが正解である。市場の景気も表向きの数字であり、景気回復と言われているが実際には、消費者への負担が増えるばかりである。
乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・自動車の整備と販売をしている。整備は順調に入っているが、販売については3月は良かったが、4、5月はあまり芳しくない。
乗用車販売店 (総務担当)	販売量の動き	・前年同月と同等レベルであり、まだ回復傾向になっていない。
その他専門店 [ドラッグストア] (経営者)	販売量の動き	・来客数が増えても、買上点数が増えない。全く景気の良さを感じられない。
その他専門店 [雑貨] (従業員)	来客数の動き	・新店が開業し、その売上が横ばいで安定している。
その他小売 [ショッピングセンター] (統括)	販売量の動き	・昨年にはなかった商業施設が近隣でもオープンしており、そこに取られている感じがする。
高級レストラン (支配人)	来客数の動き	・3か月前とはあまり変わっていないが、それ以前に比べると景気の良さを感じる。ただし、2～3月の急激な景気の上昇感を感じられない。法人よりも個人の動きが活発である。
一般レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・気持ち的には良くなると信じているが、良いとも悪いとも言えず、微妙である。場所によって悪い店もあれば、平均して少し良くなった店もある。全部で3店舗あるが、悪くないけど、さほど良くもない感じである。周りでは様々な品物が安く売っているが、誰も買わない。ただし、気分は皆、割と良くなるだろうと思っている。気分だけである。
都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・宴会では今までに利用のなかった会社からの問い合わせや申込があったり、しばらく利用のなかった会社の利用が復活したりした。レストラン関係、特にバーは支店長の交際費の額が増えたものと我々は判断しているが、利用が増えた。また、地場の中小企業のオーナー社長の利用が増えた。しかし、レストランで高級ワインや貴重な日本酒を伴った接待利用はまだない。宿泊は個人利用含めて問い合わせがあるが、依然として料金には厳しいものがあり、インターネットを通じて500～1,000円の間で料金を調整して集客に努めている。
旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・前年同期比で売上見込みが変わらない。
旅行代理店(支店長)	販売量の動き	・販売量の動きについて、世間ではアベノミクスの影響で良いというような感じを受けるが、我々の業界ではまだそれが反映されていない。特に夏までの団体の動きがさほど良くないので、この点を重視している。ただし、今月はスカイツリーが開業1周年を迎えたので、関連商品や団体の問い合わせが増えているということだけが明るい材料である。
通信会社(経営者)	お客様の様子	・加入状況については変化がみられない。
通信会社(経営者)	お客様の様子	・ここ半年の受注案件量に比べ、若干少なくなっているようである。
通信会社(局長)	お客様の様子	・繁忙期が終わり、転居もひと段落ついたところでじっくり契約を伸ばすことに注力しているが、報道でのアベノミクス効果はまだ客には実感がなく、依然として単価は下がる傾向にあり、量販店への足も遠のき、本当に必要とするもの以外は購買意欲が盛んになっているとは言い難い。
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・消費者の購買意欲はまだあるようには感じない。依然として低価格の商品への購買意識が高い。
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・新規加入、解約の動向からは特に変化は感じられない。上位コースより料金が安いコースへ流れる傾向は変わらない。

通信会社（営業担当）	お客様の様子	・全体的に新規契約数は伸びがみられず、実績も厳しい状況が続いている。
通信会社（管理担当）	販売量の動き	・春先の横ばい傾向が続く。例年、夏は販売量が落ちることから、このトレンドは変わらない。
通信会社（局長）	販売量の動き	・販売量の動きが改善している実感はあるものの、景気が上向いている実感はない。自助努力や天候による業績改善の兆しはみられるが、景気判断に影響するほどではない。
ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・前年の実績と比較し、下回るわけでもなく、上回りもしない。前年の実績は良かったとは言えず、それと比較すること自体、景気は上向きとは言えない。
パチンコ店（経営者）	単価の動き	・1円パチンコという低玉貸し、4分の1の金額で遊べる5円スロットが、やはり人気があり、その客が増えている。また、近隣で1番大きな店が低玉貸しのコーナーを増大して、客が遊びやすくなっている。そのようなことから単価の動きを大変強く感じている。
その他サービス [福祉輸送] (経営者)	お客様の様子	・先月までのアベノミクス景気での期待、盛り上がりに対して、今月は株価の乱高下もあり、仕入価格、原材料費といった様々なものの値上げの動きが出ており、事業によって良い所と悪い所が二極化してきているような状況である。特に国内需要に根ざしているような所は、なかなか採算が取れず、販売拡大もできないといったような状況が出てきて、客の様子もそれぞれ違ってきている。
その他サービス [保険代理店] (経営者)	来客数の動き	・3月から5月までの顧客数は前年比でさほど変わらない。しかし、顧客1人当たりの単価は3月とは変わらないが、前年比では少し上昇している。
設計事務所（所長）	お客様の様子	・今までほとんど民間の話はなかったが、ここに来て新規の民間の相談と共に計画の依頼がきている。やっと動きを感じているが、まだ完全に良くなったとは思わない。
設計事務所（所長）	それ以外	・予想ではこんなものかとは思っていたが、なぜこんなに停滞しているのか不思議でならない。
設計事務所（職員）	それ以外	・特に変化は感じられない。
住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・3か月前より若干客の動きが鈍ってきている。5月は毎年契約数が伸びる月だが、思った以上に契約に至っていない。
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・契約数も売上も変わらない。ただし、住宅展示場への出店企業が増えており、住宅展示場への来場者数は前年比で増加している。住宅会社、ユーザー共に、消費税増税前の先取りを意識している結果である。
その他住宅[住宅資材]（営業）	販売量の動き	・建材関係は、消費税増税前の駆け込み需要による量の増加が若干あるが、3か月前と大きく変わる状況ではない。全体的にあまり動きがない。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き ・一時期のアベノミクスブームのためか、全体的に消費量が増えてきたかのようにみえていたが、ここに来て、また以前と同じような停滞感を感じつつある。現状で景気が良いと思っているのは、来年度からの消費税増税を回避しようとしているマンション販売や新規住宅建築や、円安による価格の上昇前に購入しようとする外車や輸入高級品などだけではないか。消費者も、以前のバブル期とは違い、無闇な散財を避け、来たる好景気の後の不景気に備えているかのごとく、日常生活品への消費は伸びてこないように思える。
	一般小売店[文房具]（経営者）	販売量の動き ・前半が非常に良かったが、後半があまり良くはなく、そのためいくらか前年度より悪い成績になってしまった。どちらかというと、前半良かっただけに非常に残念な結果である。
	一般小売店[祭用品]（経営者）	販売量の動き ・先月に引き続き、受注がない。
	一般小売店[靴・履物]（店長）	単価の動き ・給料は上がらないで、電気料金などが上がっているため、当店が扱うようなサンダル、靴といった物は安くてもよいということで、単価の安い物を選ぶ傾向になっている。やはり景気は悪い。給料は上がらず、公共料金などの物価が上がるということで、非常に厳しい。

スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数はほぼ変わらない動きできているが、客単価が下がってきており、1人当たりの買上額、数量も減ってきている。そのため、売上が大きく減っている。また、ゴールデンウィークごろから気温が全般的に低く、衣料品の動きが非常に鈍い。
スーパー（総務担当）	お客様の様子	・5月については来客数が前年比94～95%で、ここ数か月続いている状態だが、特に頻度性の高い商品、衣類で言えば肌着、靴下等、家庭雑貨、日用品関係、また食品では乾物、調味料やそれに類する頻度性の高い物が非常に良くない。また、ゴールデンウィークの天候与件によっても、売上がなかなか厳しい。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・若干ではあるが来客数が落ちている。いわゆる好感を噂されている好景気というのは、まだ末端まで浸透していない。将来においてもどうなるか少し不安である。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・デフレ感が止まらない。前年比単価はマイナス15円で、約5%ダウンである。
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・来店客の多くは景気が良くなるのはまだ先のことと冷めた感じであり、以前にも増して買物をためらっているように感じられる。
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・今月は来客数が大変少ない。売上も山がなく、低い数字が多くて苦戦している。この数か月では一番悪い。市場話題より現実的数字は良くない。
乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・来客数も減少し、客の購買意欲が低下しているようである。
住関連専門店（店長）	販売量の動き	・購入数が減っている。
住関連専門店（統括）	販売量の動き	・以前はある程度来客数があったが、現在は減っており、それに伴って販売額も減少している。
その他小売 [ショッピングセンター]（統括）	それ以外	・タクシーの運転手に景況感について問いかけても、実感として良くなっているというコメントは1件もなく、自分たちが感じ始めて初めて景気回復なのではないか、という話であった。
その他小売 [ゲーム]（開発戦略担当）	販売量の動き	・ゴールデンウィーク商戦の国内市場は前年比90%を割り込んだ。新商品よりも過去作品のリピート販売が活発で、盛り上がり欠けている。海外も良い話は聞かない。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク明けしばらくは良かったが、第3週目あたりからフリーの客が極端に減っている。宴会は横ばいだがフリーの客が急激に減少している。
都市型ホテル（経営者）	単価の動き	・アベノミクスの効果はほとんど表れていない。逆に単価は下がる一方で仕入れの値段が上昇しており、収益が非常に圧迫されている。
タクシー運転手	来客数の動き	・ゴールデンウィークが明けたころから来客数が減少している。
タクシー運転手	お客様の様子	・今月は予想に反して非常に落ち込んでいる。よく客にはアベノミクスで上向いているのではないかと聞かれるが、我々タクシー業界においては逆で、やや悪くなっている。
タクシー運転手	お客様の様子	・4月の営収は前年同月比で変動なかったが、5月に入ってから極端な波があり、曜日にもよるが前日の2倍という時もあるれば、半分以下の時もあり、できない日は稼働時間を延ばしてノルマを達成し、末端である当業界の景気回復はまだまだ先のようなのである。
通信会社（総務担当）	単価の動き	・円安の影響で商品の価格が上昇しているものが、よくみられる。
遊園地（職員）	お客様の様子	・株価上昇など景気回復的なニュースはあるが、客の様子に変化はみられない。
その他レジャー施設 [アミューズメント]（店長）	お客様の様子	・目的を持って来店する客が多く、単価は高いものの、平日、週末を問わず、全体的に来客数が少ない状況が続いている。
美容室（経営者）	来客数の動き	・来店サイクルがだんだん鈍っているようである。
設計事務所（所長）	競争相手の様子	・依然として景気は良いようなことを国では言っているが、我々末端の設計業においては、年々事務所自体が増えてきているにもかかわらず仕事量は減っている。競争は依然として激しく、なおかつ単価は逆に下げる方向で動いているため、非常に厳しい。

		住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・今月の販売量は目標数字の約60%となり、前後の月へのずれ込みを考えても景気はやや悪く、3か月前と比べても景気はやや悪くなっている。決算期への駆け込み需要があり、その反動が出てしまったようである。
	悪くなっている	一般小売店〔家電〕 (経理担当)	販売量の動き	・エアコン、扇風機などの季節商材が、下見の段階で実売にはまだなっていない。家電商品は故障が少なく、修理依頼がなく、買換え需要が減っている。
		一般小売店〔食料雑貨〕 (経営者)	来客数の動き	・近隣の競合店がオープンする。
		その他小売〔生鮮魚介卸売〕 (営業)	販売量の動き	・アベノミクス効果で円安が進み、必然的に避けられないガソリン価格や電気料金等の値上げに対して、一番削りやすい食料品の需要が落ちているように思える。
企業 動向 関連 (南関東)	良くなっている	金融業(支店長)	取引先の様子	・円安、株高で企業業績も回復し、個人の消費、投資意欲も徐々に始めている。
	やや良くなっている	食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・会社関係の注文が増えてきて、徐々に前年比100%達成である。
		食料品製造業 (経営者)	受注価格や販売価格の動き	・量的にはともかく、高額な物が動くようである。
		出版・印刷・同 関連産業(所長)	受注量や販売量の動き	・今月に入り、若干ではあるが仕事の問い合わせ件数が増えてきている。受注に結び付かなくても引き合いがくることは、良くなりつつあると考えたい。
		金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・5月のゴールデンウィーク明けから受注件数が増え始め、見通しでは受注量も増えている。
		輸送用機械器具 製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・トラックの場合、特別なことがない限りは毎年今ごろから上向きになる。今年は急激に円安が進んだこともあり、10月ごろまではやや良くなる。日本のメディアは、アベノミクスはまだ始まったばかりで、株が乱高下したらもう終わりだとか、もっと大事に育てることができないのか。こういう時にもう少し盛り上げるようにすればいいのと思う。
		建設業(経営者)	取引先の様子	・実質はまだ良くなっているとは思わないが、計画する案件が始めて、少しは動き出している。
		建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・アベノミクス効果なのか、消費税増税前の駆け込み需要なのか、消費者の消費意欲の高まりが強い。
		建設業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・依然として消費税の税率が上がることを予測した顧客の駆け込み発注が続いている。
		建設業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・ここにきて、受注までこぎ着けた案件がいくつか出てきた。材料費や人件費等が上昇しているため、採算性は別としても、工事案件は一時より増加している。
		通信業(広報担当)	受注量や販売量の動き	・3か月前と比べると、わずかながら良くなっているが、前月と比べると悪化している。
		金融業(統括)	取引先の様子	・若干、売上が上向いているようである。ただし、設備投資等に跳ね返ってきていないため、まだ本格的な景気の浮揚とは思えない。
		金融業(役員)	取引先の様子	・まだ具体的な行動はないが、各種補助金や設備投資の相談等、前向きな動きがみられる。
		不動産業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・賃貸は相変わらず低迷を続けている。売買では、駅から徒歩7分、120.65平米、接道3メートルの敷地延長物件で希望価額より若干の指値はあるが、賃貸物件を建築して入居者を募集して販売。また、駅から徒歩10分、227.06平米の物件は指値は当然あったが、応じなかったところ満額で建売業者が買付けを入れてきた。3棟建築するようだが、この状況を見ると土地価格の上昇が感じられる。
		不動産業(従業員)	受注量や販売量の動き	・個人の土地、建物の引き合いが増加しており、成約率も前年同月比で約3割上昇している。
		不動産業(総務担当)	それ以外	・新築マンションの工区の販売にあたり、先に販売した工区が販売不振であったため、その反省を踏まえ、価格をやや抑えて販売を開始したが、予想に反して最高価格の最上階の角部屋に人気が集中している。一方で低価格帯のファミリータイプの部屋は売行きが悪く、経済波及効果が中間層以下には届いていないようである。
		広告代理店(営業担当)	受注量や販売量の動き	・社内会議での発表の際に、各部署から新規の良い話が舞い込んできている。
		税理士	取引先の様子	・株価の乱高下はあったものの、確実に株価が上昇することは良い材料である。円安も輸出産業には追い風となっている。

	経営コンサルタン ト	取引先の様子	・飲食店等の予約が好調である。前年に比べ売上の伸びが顕著な店がある。
	その他サービス業 [ソフト開発] (経営者)	それ以外	・夜の街中に人が出てきている。
	その他サービス業 [映像制作] (経営者)	受注量や販売量の動き	・売上高としてはあまり変わっていないが、長年発注のなかった取引先から受注を受けるなど、気分的には上昇の傾向にある。
	その他サービス業 [警備] (経営者)	競争相手の様子	・一時、落ち着いていた公共事業の現場が増えてきている。
	その他サービス業 [情報サービス] (従業員)	受注量や販売量の動き	・マンション市場での通信設備に関する配備関連が、良くなってきている。
変わらない	繊維工業 (従業員)	受注価格や販売価格の動き	・円安による輸入原材料の高騰により、厳しい経営を迫られている。また、原材料の入手も厳しくなっている。
	出版・印刷・同関連産業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・受注のなくなった事業と新規に受注開始する業務があるため、総じて増減はない。
	出版・印刷・同関連産業 (経営者)	取引先の様子	・今月は官公庁の年度末の仕事も一段落して新規の発注も少なく、また、一般の会社と学校関連からの仕事も一休み状態でしばらくの間見守るようである。
	出版・印刷・同関連産業 (経営者)	取引先の様子	・輸出関連の大企業は、為替差益で儲かっているが、我々には全く関係がない。
	出版・印刷・同関連産業 (経営者)	取引先の様子	・まだ政権が変わって月日がたっていないため、様子見の企業が多い。
	出版・印刷・同関連産業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・印鑑、名刺印刷の仕事をしている。問屋への支払いが通常15万円くらいあるが、今月は10万円にいかないくらいの金額だったので2月と同じくらいである。当店の場合、注文があってから仕入れるので、問屋への支払いは大体販売額と同じくらいの動きになる。会社の設立も通常6、7件あるのだが、4件くらいしかなかったもので、やや下り気味と感じている。
	プラスチック製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・受注量は微増で推移しているが、円安の影響で原料価格も高騰しているため、利益率に変化はない。
	一般機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・例年5月は良くないのだが、今年はそれにも増して悪いような気がする。
	電気機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・景気は上向きに推移しているが、現実の問題として、全般的にまだまだ数字にまとまるような実績には伸びていないため、これからがどうなるか正念場である。
	精密機械器具製造業 (経営者)	取引先の様子	・報道で伝えられているようなことは、実際には実感が無い。他人事のように感じられる。
	その他製造業 [鞆] (経営者)	取引先の様子	・前月も同じだが、最近の状況としては、不景気だという言葉は聞かれなくなったという意味で順調にしているのではないのかと、仕事の回り具合からも感じている。
	建設業 (経営者)	受注価格や販売価格の動き	・商品がなかなか売れない。売れても価格が安い。
	輸送業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・ゴールデンウィーク終了後、取扱量はさほど増えず、今月前半の営業は低調に推移した。後半も前半の落ち込みを補うほどの力強さはなく、全体としては沈滞した状況である。
	輸送業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・世間のお金の流れからみると若干景気が良いように感じる。なかなか実態経済が伴っていないような気がする。それほど景気が良いという判断にはならない。
輸送業 (総務担当)	取引先の様子	・得意先荷主の新年度の計画で、今期は出荷が徐々に増加する見込みである。増産体制を取って生産をしているようだが、現在は出荷が低調なので今後を期待している。	

	金融業（支店長）	取引先の様子	・取引先の様子だが、不動産業に関しては消費税が上がるという前提のもとで、商品が売れている。製造業に関しては、今年度に入ってアベノミクスの影響からか、少し雰囲気は良くなっている。ただし、3か月前と比べると受注は、まだ増えていない。また、小売業も今のところそれほど売上が上がっているということはない。
	広告代理店（経営者）	取引先の様子	・例年この時期は新年度になり、客先も仕入先も新たな動きが始まる時期のため、一見活発な感じを受けるが、それは例年のことであり、今期が例年より特に盛り上がっているわけではない。景気上向きと報道されるが、こちらは全く感知できない。
	広告代理店（従業員）	取引先の様子	・世間ではアベノミクス効果といわれ、株価等が良さそうだが、取引先の自動車販売会社で急激に車が売れ出したといった話はない。
	税理士	それ以外	・アベノミクスとは言われているけれども、人口的な対比では圧倒的に多い中小企業に従事している人やその家族の方にはまだきていない。株価上昇などでやや踊っている部分があるだろうが、実態がそうなのかはまだ分からない。一般の店にもあまり客が戻っていない気がしている。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・商店街では、夏季賞与を当て込んだサマーセール企画に入っている。このところ明るい兆しがみえ始めたが、業績が上向いている企業は限られた業種であり、今回の夏季賞与にはまだ変化は出ないだろうというのが、会合に集まった多くの店主の話である。主婦の財布のひもはまだ固いという前提で、イベント企画を進めている。
	社会保険労務士	取引先の様子	・円安の関係で、かなり利益が良くない状況になっている会社や資金繰りの厳しい会社が、まだまだ見受けられる。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・中小製造業には、円安、大手の利益増加の波及は残念ながらきていない。
	その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・アベノミクス効果が反映されず、受注量は思ったほど伸びていない。
	やや悪くなっている	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	それ以外
		金属製品製造業（経営者）	取引先の様子
	悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き
		輸送業（経営者）	取引先の様子
雇用関連	良くなっている	—	—
(南関東)	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き
		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子
		人材派遣会社（支店長）	それ以外
		人材派遣会社（支店長）	採用者数の動き
		人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子
		求人情報誌制作会社（編集者）	採用者数の動き

	求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・年始めの求人数の推移に比べて、若干だが増加傾向になっている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比で2けたの増加が続いている。
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・物流関係で運転手や福祉関係の求人が増加しており、企業側に前向きな動きがみられる。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比微増となっており、特に卸売業、小売業で伸びている。一方で、新規求職者は減少傾向にあるため、雇用情勢は改善が期待される。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・これまでハローワークを利用しなかった求人者が、若干増えている。
	民間職業紹介機関（経営者）	採用者数の動き	・経済政策によって、一般心理面で近い将来に対する景気回復期待感、円安などによる国内外での業績改善見通しがついてきたため、慎重ではあるが人材の確保に力が入ってきている。
	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・新卒採用が落ち着いてくる5月に入ったが、明らかに求人数が増えてきている。
	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・新規求人数が増えており、特に建設、不動産、リテール金融関連が好調になってきている。
変わらない	人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・顧客企業の需要が堅調に推移している。
	人材派遣会社（社員）	それ以外	・求人数は各業種共、増えていない。また、現在円安になってきていることや株の乱高下もあって、各企業は今後どうしたら良いのかがはっきりみえないため、景気はまだ良くならない。
	求人情報誌製作会社（広報担当）	周辺企業の様子	・景気の期待感のみで、実際に業績が上がったという話は聞かない。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・正社員については横ばいだが、パートタイムの求人数は若干増加の方向に動いている。
	学校〔専修学校〕（就職担当）	求人数の動き	・今年度の求人獲得状況は、それほど大きな増減はなく、変化はみられない。
やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・今月は倒産が4社、廃業が2社、かなりの大口の募集が3社大幅減少した。それに対して新規が32社、大口が1社である。全体的に数量は少しは出すというぐらいいであり、かなりきつい。
悪くなっている	—	—	—